

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童の学力や学習状況を把握し、児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立大木小学校第6学年、全児童

実施児童数（ 6 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

※ 分布状況については、少人数による調査参加であったため特徴的な傾向は見いだせない。

「A区分問題」平均正答率（泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」平均正答率（泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問	
<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>○基礎的な漢字の読み書きの定着に課題がある。</p> <p>1一(1,2,3) 漢字を読む <u>標識</u> <u>街灯</u> <u>勢い</u></p> <p>1二(1,2,3) 漢字を書く <u>皿</u> <u>祝う</u> <u>予防</u> (75.0, 81.2)</p> <p>【話すこと、聞くこと】</p> <p>○話し合いの観点に基づいて情報を関係づけ、話し合いの方法として適切なものを選択することについて課題がある。</p> <p>7 話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する (50.0, 72.4)</p>	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>○故事成語の使い方について正しいものを選択する問題については、概ね理解できている。</p> <p>2一二 五十歩百歩 百聞は一見にしかず (66.7, 52.9)</p> <p>○複数の事柄を並列の関係で書くことについては、概ね理解できている。</p> <p>6一 「～たり、…たり」という表現に直して書く。 (83.3, 74.9)</p> <p>○文のつながりを捉え正しいものを選択する問題は十分理解できていた。</p> <p>6二 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する (100.0, 83.1)</p> <p>※その他の問題についても概ね理解できている。</p>	

国語B	特徴がみられた設問	
<p>【話すこと、聞くこと】</p> <p>○質問の意図を捉えて適切なものを選択することについて、課題がある。</p> <p>1二 林さん⑤之質問の狙いとして適切なものを選択する (50.0, 60.2)</p> <p>○登場人物の立場を明確にして、質問や意見を述べることに、課題がある。</p> <p>1三 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問会見を書く (33.3, 28.3)</p> <p>【書くこと、読むこと】</p> <p>○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関連付けながらまとめて書くことについて課題がある。</p> <p>2二 付箋の内容を関係づけて、野口さんのまとめを書く (16.7, 26.9)</p> <p>○詩の解釈における着眼点の違いを捉えることについて、課題がある。</p> <p>3二 【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する。 (16.7, 26.9)</p>	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>○詩において、表現の特徴として適切なものを選択することについて、概ね理解できている。</p> <p>3一(1,2)【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する (83.3, 59.2)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○付箋の内容に関連付けながら、最初に持った疑問を捉えることについて、概ね理解できている。</p> <p>2一 付箋の内容と関連付けて、原田さんの疑問を書く (83.3, 71.9)</p>	

○二つの詩を比べて読み，自分の考えを書くことに課題がある。 3三 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く (50.0, 48.5)	
---	--

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好き	33.3	59.2	○	25.9
国語の勉強は大切だと思う	100.0	91.8	◇	8.2
国語の授業の内容はよく分かる	83.3	80.1		3.2
国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思う	100.0	87.4	○	12.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしている	50.0	61.4	○	11.4
国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫している	33.3	58.5	○	25.2
国語の授業で文章を読むとき，段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる	50.0	75.8	○	25.8

- 国語学習への意欲があまり高くないように思われる。
- 国語学習の意義については，十分理解できている。
- 授業において工夫をしたり，努力をしたりする傾向があまり見られない。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

※ 分布状況については、少人数による調査参加であったため特徴的な傾向は見いだせない。

「A区分問題」平均正答率（泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」平均正答率（泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○基礎的な計算問題(6問)について、概ね理解できているものの、課題が見られた。 1 (1, 2, 3, 4, 5, 6) ・ $46 + 57$ ・ 903×6 ・ $9 - 0.8$ ・ $2 \div 5$ ・ $100 - 20 \times 4$ ・ $1 \div 3 + 2 \div 5$ (80.6, 89.5)</p> <p>【量と測定】 ○単位量当たりの大きさの理解について問題に課題が見られた。 4ニ 8 m^2に16人いる部屋の 1 m^2当たりの人数 (33.3, 60.8)</p> <p>【図形】 ○円周の求め方について、課題がある。 5 (1) 直径の長さを使って円周を求める (66.7, 83.9)</p> <p>○作図に用いられている図形の約束や性質の理解について、課題がある。 6 コンパスを使った平行四辺形の書き方から平行四辺形の特徴を選択する。 (0.0, 52.0)</p> <p>○立体図形とその見取り図において、辺や面のつながりや位置関係の理解に、課題がある。 7 直方体の面㊸になる四角形を選択する。 (50.0, 69.4)</p>	<p>【数と計算】 ○割合が1より大きい場合の比較量の求め方が(基準量)×(割合)であることの理解が概ねできている。 2 (1) 80 cmの1.2倍に当たるテープの長さを求める式を求める。 (83.3, 71.9)</p> <p>【数量関係】 ○二つの数量の関係を□、△などの記号を用いて式に現わすことの理解が概ねできている。 9 1辺の長さ□ cm、周りの長さ△ cmの正五角形の□と△の関係 (100.0, 82.0)</p> <p>※ 量と測定、数量関係に関する他の問題については、概ねよくできていた。</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○計算の結果に見通しを持ち、(2位数)×(1位数)の筆算を行う問題について、課題がある。</p> <p>1(1)横に並ぶ数字が並ぶ積を選択する (66.7, 94.6)</p> <p>○10人分の量をもとに40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することについて、課題がある。</p> <p>3(2)40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しくあらわしている図を選択する (50.0, 56.7)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることについて、課題がある。</p> <p>3(1)昨年の給食時間の見直しのとき、今年の準備時間を何分にすればいいか答える。 (33.3, 38.6)</p>	<p>【量と測定】</p> <p>○最大値に着目して、棒グラフの枠の中に現わすことができない理由を記述することについて、概ねできている。</p> <p>2(2)1目盛りを50m³として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く。 (83.3, 69.1)</p> <p>○示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することが概ねできている。</p> <p>3(1)使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ (83.3, 46.1)</p> <p>○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することができている。</p> <p>5(3)妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く (50.0, 33.0)</p> <p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由の記述ができる。</p> <p>3(3)示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く (50.0, 30.6)</p> <p>○二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目した記述が概ねできる。</p> <p>4(2)二人の①のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く (83.3, 60.5)</p> <p>○示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることが概ねできる。</p> <p>5(1)畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかき (83.3, 65.7)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好き	50.0	66.1	○	23.1
算数の勉強は大切だと思う	83.3	92.3	◇	9.0
算数の授業の内容はよく分かる	83.3	79.6		3.7
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	83.3	78.1	◇	5.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	66.7	79.4	○	12.7
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	33.3	60.0	○	26.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う	66.7	86.9	○	20.2

- 算数学習への意欲があまり高くないように思われる。
- 算数学習の意義については、十分理解できている。
- 授業においてあきらめない姿勢はあるものの、工夫をして考えを深めるまでには至っていない。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して差の大きな項目、あるいは特徴的な項目を列挙した。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている時間、テレビゲーム等をする時間が、たいへん長い。 ・早寝をする生活習慣が定着していない。 	<p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <33.3 / 79.2></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たり2時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている。（テレビゲームをする時間は除く） <83.3 / 61.3></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たり3時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている。 <50.0 / 17.0></p>
【学校生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活は楽しく充実しているようであるが、悩みを相談する人がいない児童がいる。 ・地域行事が盛んで、積極的に参加する児童が多い。しかし、地域の将来や課題について考えている児童が少ない。 	<p>○学校に行くのは楽しいと思う <100.0 / 80.4></p> <p>○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある <100.0 / 86.5></p> <p>○学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えても、誰にも相談しない <50.0 / 20.5></p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加している <100.0 / 68.0></p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある <0.0 / 42.5></p>
【自尊感情】	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの控えめな性格も回答に影響があるとは思われるが、少人数の中での生活のためか、自分に自信を持ち、積極的にかかわる意識が少ないように思われる。 	<p>○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか <83.3 / 94.4></p> <p>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している <50.0 / 75.1></p> <p>○自分には、よいところがあると思う <50.0 / 76.1></p>
【規範意識】	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識は高い。 	<p>○学校のきまりを守っている <100.0 / 90.5></p> <p>○友達との約束を守っている <100.0 / 97.3></p> <p>○人の気持ちが分かる人間になりたいと思う <100.0 / 94.4></p> <p>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思ふ <100.0 / 96.4></p>

<p>【家庭学習の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間がたいへん短い。 ・学校の宿題にはしっかりとりくめているが、計画性を持って復習や予習にとりくんでいる児童が少ない。 	<p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの2時間以上勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） <0.0 /25.8></p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの2時間以上勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） <0.0 /11.25></p> <p>○家で、学校の宿題をしている <100.0 /97.1></p> <p>○家で、学校の授業の予習をしている <0.0 /43.2></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしている <33.3 /54.0></p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしている <16.7 /61.0></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動や調べ学習については、授業の中でとりくめている。 ・考えをまとめたり説明したりするために文章にすることについては難しいと考えている児童が多い。 ・自分で積極的に課題にとりくむことがあまりできていない。 ・授業のはじめの明確な目標の指示、丁寧な振り返りがあまりなされていない。 	<p>○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる <100.0 /91.7></p> <p>○5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思う <83.3 /77.3></p> <p>○5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う <100.0 /84.9></p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う <100.0 /57.6></p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる <16.7 /63.8></p> <p>○5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う <50.0 /84.0></p> <p>○5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う <66.7 /71.9></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・平成25年10月に、大阪府初の重要文化的景観に選定された大木地区の美しい自然や風景、地域の人びとが長い歴史の中で受け継いでこられた素晴らしい自然環境を生かした教育活動を行っています。
- ・平成19年度より、小規模特認校制度を活用して泉佐野市内各地から通っている子どもたちも含めて、全校児童38名が元気で伸びやかに学校生活を送っています。
- ・「わらび採り・わらびご飯づくり」や「田植え・稲刈り」「川探検」「大木探検」などの本校でしか味わえないような自然体験活動は、子どもたちに大きな感動を与え、自然科学への興味・関心を高め、豊かな感性をはぐくんでいます。
- ・学習面では、基礎・基本の学習のために、朝学習として各クラスでプリント学習に取り組んでいます。教材は府教委から配信される復習プリントを活用しています。また、コンピュータ室を活用して調べ学習を行ったり、クラスに常備している大型テレビに実物投影機を活用して教科書や資料を映しだしたりするなど、視覚的に興味を引き出すようなICT活用の授業を行っています。少人数クラスであり、お互いに意見を述べ合う時間や発表する時間は必然的に多くなっています。
- ・総合的な学習の時間や生活科の時間を活用して、縦割り活動（山の子タイム）にとりくんでいます。異年齢の関わりが増え、下の学年の子どもたちと接する場面で自己有用感や自尊感情を高めたり、上の学年の子どもたちと接することで身近な見本・お手本からの学びが増え、より積極的な姿勢・意欲が身についてきているように思います。

◎これからの取組み

- ・算数A（基礎的な力を問う問題）において、基本的な計算問題や図形などの基本事項の“学び”に課題が見つかりました。国語Aにおいても漢字の読み書きに課題が見られました。朝の学習で基本反復練習を行っているのですが、さらに充実させたいと考えています。
- ・国語・算数のB問題では、しっかり問題を読み解き、考えを整理しまとめて表現する力に課題があるようです。少人数授業の中で発表する機会も多く、友だちの中で遠慮なく意見や思いを伝えあっている子どもたちですが、与えられた条件の中で整理する力や文章にまとめる力に弱さがあるようです。また、長文の問題を読み解く“慣れ”も必要なようです。「子どもたちに豊かな表現力を」を研究主題に、日記や作文など「書くこと」を重視した取組みを進めているところですが、集団づくりのとりくみを重ねながら、さらに子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えています。
- ・授業づくりに関しては、はじめに“めあて”を示し、明確にした“ねらい”を子どもたちと共有しながら授業を進めること、最後に振り返りを丁寧に言い学習内容の定着を図ることを教職員で意思一致して取り組んでいきます。
- ・家庭での学習時間が短く、学習習慣や学習への意欲の面に課題があります。家庭学習の手引きなどの作成を含め、家庭学習の充実に努めます。
- ・少人数であることから、楽しく仲良く行動している半面、自尊感情や自己有用感がやや低く、自信の持てない子どもたちがいるようです。今後もたくさんの人との出会いを作り“切磋琢磨”する機会を増やすことで、“生きる力”の育成に努めていきたいと考えています。